



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 康至  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3031  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	165,497	2.9	1,641	18.1	1,896	11.8	1,849	83.1
2024年3月期中間期	160,904	3.1	1,389	△22.4	1,696	△12.6	1,010	△17.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,658百万円 (△4.5%) 2024年3月期中間期 1,735百万円 (49.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	343.49	-
2024年3月期中間期	187.69	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	92,168	32,292	35.0	5,981.19
2024年3月期	91,150	30,994	34.0	5,757.95

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 32,292百万円 2024年3月期 30,994百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	75.00	75.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	85.00	85.00

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 15円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	335,000	0.5	3,700	18.5	3,700	△5.4	3,000	△17.1	557.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	5,562,292株	2024年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	163,242株	2024年3月期	179,467株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	5,385,433株	2024年3月期中間期	5,383,166株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得情勢には実質賃金の改善に足踏みがみられるものの、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には総じて持ち直しの動きがみられ、緩やかに回復しています。

消費者心理は、消費者物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、生活防衛意識を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しているものの、内食関連需要は物価高騰も影響し総じて伸び悩んでいます。

このような環境にあって、当社グループは、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し事業活動を展開しています。

また、2024年度から2026年度までの3カ年を対象とした『OUGグループ中期経営計画2024』に従い、継続してバリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、1. 「鮮魚事業の強化」、2. 「商品力の強化」、3. 「関東マーケットの深耕・拡大」、4. 「海外事業の拡大」、5. 「サステナブルな事業活動」の事業テーマにグループ一体となって取り組んでいます。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は165,497百万円（前年同期比102.9%）となりました。損益面では、売上総利益は14,472百万円（前年同期比106.3%）となり、営業利益1,641百万円（前年同期比118.1%）、経常利益1,896百万円（前年同期比111.8%）、親会社株主に帰属する中間純利益1,849百万円（前年同期比183.1%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売数量・販売単価が共に増加・上昇したことに加え、一部商材の調達コストが低下したこと等により売上総利益率は上昇し、売上高101,389百万円（前年同期比103.4%）、セグメント利益1,523百万円（前年同期比202.9%）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、外食・宿泊・インバウンド関連需要が好調に推移する中、物流費、人件費の増加はありましたが、商品調達コストの上昇を販売価格へ転嫁したことにより売上総利益率は上昇し、売上高64,432百万円（前年同期比101.9%）、セグメント利益633百万円（前年同期比155.5%）となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売数量が大幅に増加したことにより増収となりましたが、養殖ブリの全国在池量が多く販売単価が低下したことに加え、餌料の高騰、酷暑による成育遅れ等による生産原価の上昇もあり、売上高4,152百万円（前年同期比122.2%）、セグメント損失523百万円（前年同期はセグメント利益153百万円）となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、連結子会社1社の解散により減収となり、また、一部原材料の調達コスト上昇の影響により、売上高1,887百万円（前年同期比92.5%）、セグメント損失64百万円（前年同期はセグメント損失57百万円）となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、運送原価の上昇がありましたが、配送収入・センターフィの増加により増収となり、売上高890百万円（前年同期比108.2%）、セグメント損失0百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高2,135百万円（前年同期比90.3%）、セグメント利益18百万円（前年同期比68.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて1,017百万円増加し、92,168百万円となりました。増加の主な要因は、棚卸資産の増加5,322百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて281百万円減少し、59,875百万円となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,217百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1,298百万円増加し、32,292百万円(自己資本比率35.0%)となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加1,453百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて163百万円増加し、2,588百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,699百万円の支出(前年同期は1,221百万円の支出)となりました。これは主に、売上債権の減少3,663百万円(前年同期は4,154百万円の増加)がありましたが、棚卸資産の増加5,322百万円(前年同期は3,622百万円の増加)、仕入債務の減少1,055百万円(前年同期は5,514百万円の増加)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは346百万円の収入(前年同期は661百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入1,342百万円(前年同期は1百万円の収入)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,516百万円の収入(前年同期は2,756百万円の収入)となりました。これは主に、配当金の支払401百万円(前年同期は374百万円の支払)がありましたが、借入金の増加による純収入1,920百万円(前年同期は3,131百万円の純収入)があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,430	2,593
受取手形及び売掛金	35,321	31,676
商品及び製品	30,503	35,855
原材料及び貯蔵品	310	281
その他	1,414	1,051
貸倒引当金	△71	△66
流動資産合計	69,908	71,390
固定資産		
有形固定資産	10,294	9,610
無形固定資産	1,374	1,412
投資その他の資産		
投資有価証券	6,842	6,821
その他	2,964	3,145
貸倒引当金	△233	△212
投資その他の資産合計	9,573	9,754
固定資産合計	21,241	20,777
資産合計	91,150	92,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,428	24,210
短期借入金	16,658	18,633
1年内返済予定の長期借入金	3,059	3,051
未払法人税等	833	420
賞与引当金	767	761
その他	4,140	3,545
流動負債合計	50,888	50,622
固定負債		
長期借入金	6,335	6,289
退職給付に係る負債	2,281	2,201
役員退職慰労引当金	99	79
その他	551	681
固定負債合計	9,267	9,252
負債合計	60,156	59,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,094
利益剰余金	16,252	17,706
自己株式	△443	△403
株主資本合計	28,395	29,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,506	2,492
繰延ヘッジ損益	37	△88
土地再評価差額金	△459	△467
退職給付に係る調整累計額	514	463
その他の包括利益累計額合計	2,599	2,399
純資産合計	30,994	32,292
負債純資産合計	91,150	92,168

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	160,904	165,497
売上原価	147,292	151,024
売上総利益	13,612	14,472
販売費及び一般管理費	12,222	12,831
営業利益	1,389	1,641
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	105	103
受取賃貸料	94	93
補助金収入	172	157
その他	75	69
営業外収益合計	449	424
営業外費用		
支払利息	94	113
賃貸費用	42	49
その他	4	6
営業外費用合計	142	169
経常利益	1,696	1,896
特別利益		
固定資産売却益	1	642
投資有価証券売却益	19	101
受取保険金	59	—
特別利益合計	79	743
特別損失		
災害による損失	275	—
固定資産除却損	9	1
固定資産売却損	—	9
特別損失合計	284	11
税金等調整前中間純利益	1,491	2,629
法人税、住民税及び事業税	401	272
法人税等調整額	79	507
法人税等合計	481	779
中間純利益	1,010	1,849
親会社株主に帰属する中間純利益	1,010	1,849

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,010	1,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	654	△14
繰延ヘッジ損益	76	△126
退職給付に係る調整額	△5	△50
その他の包括利益合計	725	△191
中間包括利益	1,735	1,658
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,735	1,658
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,491	2,629
減価償却費	462	478
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△633
投資有価証券売却損益(△は益)	△19	△101
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	△26
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△41	△184
受取利息及び受取配当金	△105	△104
支払利息	94	113
売上債権の増減額(△は増加)	△4,154	3,663
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,622	△5,322
仕入債務の増減額(△は減少)	5,514	△1,055
未払消費税等の増減額(△は減少)	△186	△611
その他	175	△190
小計	△436	△1,344
利息及び配当金の受取額	105	104
利息の支払額	△97	△116
法人税等の支払額	△793	△342
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,221	△1,699
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△310	△384
有形固定資産の売却による収入	1	1,342
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
投資有価証券の売却による収入	41	120
その他	△383	△720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△661	346
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,325	1,975
長期借入れによる収入	318	500
長期借入金の返済による支出	△512	△554
配当金の支払額	△374	△401
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,756	1,516
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	872	163
現金及び現金同等物の期首残高	2,736	2,425
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,608	2,588

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,116	62,117	2,401	1,245	259	159,140	1,763	160,904	—	160,904
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4,966	1,117	995	793	562	8,436	602	9,038	△9,038	—
計	98,083	63,234	3,397	2,039	822	167,577	2,365	169,942	△9,038	160,904
セグメント利益 又は損失(△)	750	407	153	△57	△5	1,248	26	1,275	114	1,389

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額114百万円には、セグメント間取引消去496百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△382百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	96,642	63,390	2,549	1,168	273	164,025	1,471	165,497	—	165,497
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4,747	1,041	1,602	718	616	8,726	663	9,389	△9,389	—
計	101,389	64,432	4,152	1,887	890	172,751	2,135	174,887	△9,389	165,497
セグメント利益 又は損失(△)	1,523	633	△523	△64	△0	1,567	18	1,586	55	1,641

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額55百万円には、セグメント間取引消去553百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。